

こんにちは

# 庄内町議会

です



No.64  
12月議会号  
2.1.20



復活 元旦餅つき  
令和2年

吹松公民館  
関連記事 P18

- ◆ 町施設利用料の見直し . . . . . 〈補正予算〉 P2
- ◆ 11人が町政を問う . . . . . 〈一般質問〉 P4
- ◆ 災害の危機管理 . . . . . 〈委員会中間報告〉 P11
- ◆ 真剣な眼ざしで . . . . . 〈議会傍聴〉 P12
- ◆ 活発な議論 . . . . . 〈町民と語る会〉 P14
- ◆ 議員なり手不足 . . . . . 〈議会解体親書〉 P16



令和元年度

# 補正のポイント

12月  
定例会

会期

12月10日(火)から  
17日(火)まで

各会計補正予算  
4件

条例制定  
26件

条例設定  
4件

事件案件  
2件

請願  
1件

発委  
1件

契約案件  
1件

計39件  
原案どおり  
可決

令和元年度一般会計補正予算は、3360万円を追加するものです。主な増加要因は、県人事院勧告による職員手当等の増額や、庄内町若者定住事業助成金350万円、観光地域経済波及効果調査委託料等です。

賛成全員で可決

## 観光地域経済波及効果調査委託料

200万円

観光振興計画に基づき、観光産業の推進と具現化のために、地方創生交付金を活用し、観光交流人口増による経済波及効果を調査するための委託料です。

現時点での基礎データを入力し、波及効果が推計できるプログラムの開発等、今後の観光産業に生かしていきたいです。



商品が充実 あっでは

## 調査業務委託料

63万6000円

立川総合支所の利活用のため、アスベスト調査を行うものです。



アスベストないといいな

## 庄内町若者定住促進事業助成金の追加

350万円

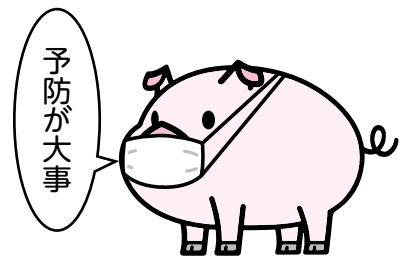
若者夫婦世帯が町内に住宅を取得し定住する場合に、取得費用の一部(住宅取得価格の10%)を助成する事業で、要望が多いことから、追加補正するものです。

## 庄内町畜産経営競争力強化支援事業費補助金

12万2000円

### ※CSF対策

CSF(クラシカルスワインフィーバー)が、昨年26年ぶりに岐阜県で発生が確認されました。本県では発生しておりませんが、現在12県で確認されており、対策が急がれています。本町では、感染源となる野生鳥獣の侵入を防ぐ網と、車両や施設内洗浄するための高圧洗浄機導入に補助するものです。



※CSF: 旧名称・豚コレラ

# 議案

# 町施設 使用料の見直し



みんなで利用しましょう 響ホール

## 響ホール

※改訂の一例は下表の通りです。

利用区分 利用室名	旧			新	
	基本使用料			基本使用料(1時間当たり)	
	昼間 (午前9時～ 午後5時) 1時間当たり	夜間 (午後5時～ 午後10時) 1時間当たり	全日 (午前9時～ 午後10時)	町民	町民以外
大ホール	3,000円	3,600円	42,000円	3,600円	5,400円
小ホール	1,170円	1,400円	16,360円	1,750円	2,630円

## 第二公民館

利用区分 利用室名	旧		新	
	基本使用料		基本使用料(1時間当たり)	
	(午前8時30分～ 午後5時まで) 1時間当たり	(午後5時～ 午後10時まで) 1時間当たり	町民	町民以外
ホール兼展示室	490円	580円	730円	1,100円
研修室(和室)	260円	300円	390円	590円
調理実習室	390円	440円	270円	410円

## 体育施設

区分	新			
		基本使用料(1時間当たり)		
		町民	町民以外	
庄内町総合体育館	アリーナ	全面	1,000円	1,600円
		半面	500円	800円
		4分の1面	250円	400円
	児童高齢者用体育室	150円	250円	

令和2年度より、自主財源の確保も含め、平成26年度以降の消費税額の引上げによる町施設使用料の見直しを図るため、各条例の一部が改正されました。

見直しとしては、使用料の原価算定（フルコスト算定）を行い、利用者の負担割合を、現在の使用料の1.5倍以内で改訂するものです。

公民館の調理室や一部冷暖房使用料は値下げとなります。

また、基本使用料では、町民と町民以外の使用料が区分されます。

今回の見直しは、各公民館や体育館、響ホール、まちなか温泉等町民に直接かかわりのある施設の使用料金の見直しということで、多く議論を重ねた結果、関連19議案すべて賛成多数で可決されました。

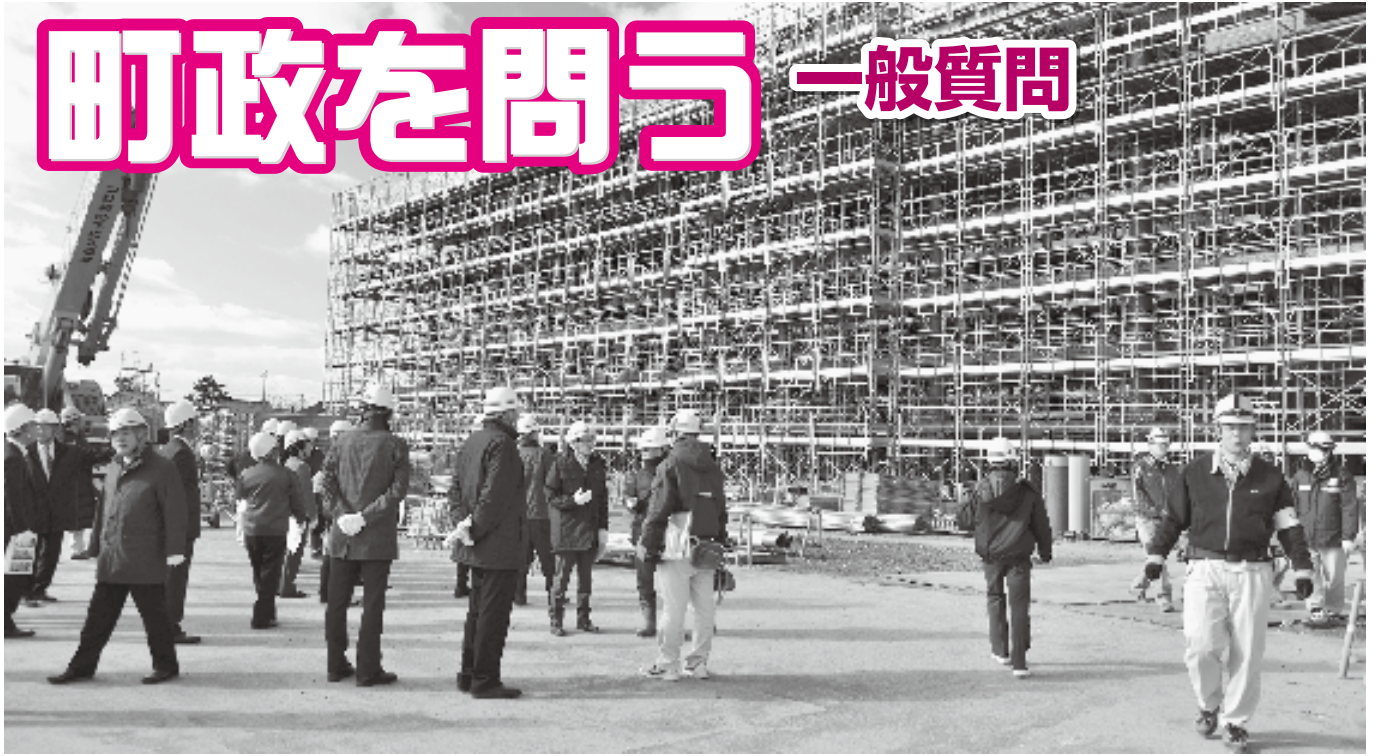
# 1.5倍以内で値上げ



値上げしても割安 総合体育館



# 町政を問う 一般質問



完成間近か

役場新庁舎

12月11、13日の2日間にわたり、11人の議員が登壇し、町の事務執行・将来の政策指針など23項目について質問しました。そのうち、下記●印項目の要約を4～10ページで紹介します。

## 通告質問全項目（●印要約紹介）

- 阿部 利勝議員…………… P 5
  - 農業所得の向上対策について
  - 使用料・手数料の見直しに関する基本方針（案）について
  - 子育て応援住宅整備事業について
- 工藤 範子議員…………… P 5
  - 令和2年度予算編成方針について
  - 子育て応援住宅の募集について
  - 通学路の安全対策と交通事故対応について
  - 使用料・手数料の見直しについて
- 上野 幸美議員…………… P 6
  - 災害時の避難場所・行動について
- 小林 清悟議員…………… P 6
  - 庄内余目病院の建て替えについて
  - 東京庄内会の総会への定年退職する管理職職員の出席について
- 長堀 幸朗議員…………… P 7
  - 小学校の新学習指導要領実施（プログラミング教育）について
  - 児童虐待防止について
- 阿部 利勝議員…………… P 7
  - 非常時の避難体制について
  - 子育て応援住宅について
- 國分 浩実議員…………… P 7
  - 非常勤特別職から移行される行政区長の任用について
- 鎌田 準一議員…………… P 8
  - 非常勤特別職から移行される行政区長の任用について
  - 雨水の冠水対策について
- 澁谷 勇悦議員…………… P 8
  - 食品ロス削減の推進に関する法律の施行に伴う対応等について
  - 公務員の犯罪告発義務について
- 加藤 将展議員…………… P 9
  - 移住定住対策について
- 齋藤 秀紀議員…………… P 9
  - 庄内町鳥獣被害防止計画について
  - 北月山荘運営について
- 小野 一晴議員…………… P 10
  - 会計年度任用職員について
  - 公共事業について

※事前の通告書による項目のとおり記載しています



QRコード  
庄内町議会HP

## 園芸 団地化

売上高1億円を目指せ

町長 地域の意向が重要



阿部利勝 議員

問

第1種苗セン  
ターでは、花き

試験ほ場導入事業による新品種トルコギキョウ作付けを予定するなど、さらなる施設活用が期待されるが平成7年建設であり、施設の老朽化が目立ってきている。今後の対策についてどう考えているか。花き栽培の所得向上のため、連作障害の対策はどう考えているか。また、1億円の売上を目指す園芸特産の大規模な団地化は、ほ場整備事業の際が現実的といわれるが、団地化推進の機運はないか。

町長

第1種苗セン

ターの老朽化対策については、経年劣化している部分の優先度を確認しながら修繕を計画的に行い、施設の長寿命化を図っている。

また、連作障害対策については、研修や視察等を実施しているものの、効果的な対策が



完成から25年 第1種苗センター

見あたらぬ状況であり、町としても継続して関係機関とともに取り組んでいきたい。さらに、ほ場整備に関連した団地化推進については、理想的な発想ではあるが、地域の意向も重要であり、現在は、その様な方向には至っていない。

## 新年度 予算編成

支援重視の編成にすべき

町長 移住定住が大きなテーマ



工藤範子 議員

問

令和2年度予  
算編成は、大型

事業（建設）をやめ、町民の暮らしを守る施策を講じるべきで、重点施策はどう考えているのか。

特に、①短時間での大雨による内水浸水被害が起る洪水対策の調査費②来年度予定を含めると、県内35市町村の内22自治体で62.9%となる高校3年までの医療費無料化実施、③若者の働く場所の確保、臨空工業団地への誘致も含め、農業や商工業への支援、福祉向上の予算にすべきでないか。

町長

新年度予算編

成においては、合併の総仕上げというなかで、新庁舎でのスタートとなることから、新しい庄内町としての門出の年が令和2年と位置づけしている。特に、急速に進む人口減少や少子化といった課題を解決するには、

何を最優先すべきかということになるが、移住定住がひとつのキーワードになると考えている。子育てや元気で長寿などの施策対応とともに、移住定住が大きなテーマと捉え、特化して行く部分と考えている。



ここでも冠水 和光町地内



## 防災 ハザードマップ

出向いて周知せよ

町長 講話などで周知している



上野幸美 議員

問

7月配布の洪水ハザードマップには、重要情報が細かく記載してある。内容説明に担当課が出向き、周知すべきであるがどうか。

災害によっては、安全確保が難しい立谷沢・清川地域の自主防災組織強化のため、町は重点的なサポートをしてはどうか。

障がいのある家族を持つ保護者から、地区公民館に併設する福祉避難所ではなく、専用の避難所の要望がある。来年度予定の地域防災計画改定で対応してはどうか。

町長

洪水ハザードマップの周知については、各自自主防災組織で開催する訓練において、集落の方に周知をお願いするとともに、関連する講話においては、危機管理専門員や担当職員が積極的に集落に出向き、地域住民に対し実施している。

特定地域への重点的なサポートについては、各地域の地形や状況に加え、地元の意見等を聞きながら対応を図りたい。

また、地域防災計画の改定に際しては、危機管理に係る総務文教厚生常任委員会の調査報告の反映を含め、検討を加えていきたい。



障がいの居場所は 余目第三公民館

## 庄内余目 病院

町長 建て替えの場合は協力せよ  
意向を確認してから進める



小林清悟 議員

問

庄内余目病院が開院して28年が経過した。聞くところによると開院して30年を境に病院の建て替えの話が出ているとのこと。庄内余目病院は、本町にとって健康増進活動や在宅医療の支援、保健・医療・福祉の地域連携体制の強化などから、なくてはならない施設である。仮に建て替えとなった場合、引き続き本町に病院を建設していただきたいが、用地の確保も含め町の考えはどうか。また、町の今後の動きについては、どう考えているか。

町長

庄内余目病院については、町の住民のみならず、この地域の周辺の方々からも、ありがたい存在だと感じていただいていると考えている。

また、引き続き庄内町に建設をしていただきたいという申し上げた経緯もあり、町が協力できるようなことがあれば、考えていきたい。さらに、町の意向のみならず、病院の考え方や意向も含め確認しながら進めていく必要があると考えている。



移転はあるか 庄内余目病院

## 小学校

教育長

### プログラム教育の充実を

来年度に向け情報提供している



長堀幸朗 議員

問

来年度から小学校は新学習指導要領が全面实施となる。プログラミング教育が必修化するが、全国の町村部の実施率は半分以下である。

本町での実施状況、教員研修、必要な環境、9月の推進月間はどうか、なっているのか。小学校各教科等の特質に応じて、計画的に実施するとされている。すべての小学校で具体的にいつどの教科のどの内容でといった計画はどうか、なっているのか。教育の機会均等と子育て教育日本一のまちづくり構想を実現する。

教育長

来年度から全面実施となる本町小学校のプログラミング教育に関しては、パソコンルームに設置しているすべてのパソコンに、簡単なプログラミングソフトを入れ、各学校の職員全員がいくつかのソフトを体験している。また、学習計画では、プログラミング教育を組み入れるため、各学校に手引きや資料を配布し、来年度には無理なく確実に取り組めるものを教育委員会から例示するなど情報提供を行っている。



子どもも先生も楽しく学ぶ 余目第二小学校

## 広域避難所

町長

### 暑さ対策も考慮せよ

対策は必要と考える



國分浩実 議員

問

近年、国内の様々な地域で自然災害が多発している。町では定期的に防災訓練を行い、新たなハザードマップも作成している。しかし今年9月に行われた防災訓練、その中でも避難所設営の訓練は暑さ対策が十分ではなく、訓練参加者からは高齢者や障がいを持つ方への対応に不安を持つ声が多く聞かれた。広域避難所の寒さ対策は東日本大震災以降充実しているが、夏の衛生面も含め、暑さ対策が不十分と思えるがどうか。

町長

非常時における避難体制において、夏場の暑さ対策は必要と考えている。非常時の場合は、電気が使用できない、発電機があっても避難人数によつては、十分な対応ができないなどの様々な状況が想定されるため、まずは風通しを良くする対応が求められる。また、初動マニュアルでは、衛生面において専門班を設け、衛生施設の被害調査を含め、し尿処理やごみ処理等の衛生面の確保に努めるとしている。



汗だくで訓練 余目第三公民館



## 行政区長 廃止

議論を進めているのか

町長

基本的に理解いただいている



鎌田準一 議員

問

国の法改正により、行政区長が行政の指揮命令関係のない個人の立場になる。一方、区長の負担軽減を図るとし、行政の配布物等の一部をシルバー人材センターに委託する。高齢者の参画協働の新たなスタイルとして歓迎したいが、行政区長を区長とし単純に規則の文言整理で終始する話ではない。住民自治と町の関わり方には重要な課題も多くあり、さらに慎重な議論を進めるべきである。行政区長への説明、話し合いはどのようにあったか。

町長

行政区長任用の見直しにおいては、行政区長会の方で説明をさせていただきながら、基本的にご理解をいただいている。これまで課題として多くいただいていた意見が、文書配布の負担軽減であったため、町の広報等、個人を特定しない配信物やチラシについて、シルバー人材センターにお願いしていく方向で考えている。なお、見直しを行うものの、町行政の円滑な運営を図るためには、各自治会とのパイプ役は不可欠な存在であるため、引き続きご尽力いただきたいと考えている。



区長の仕事どうなる

区長研修会

## 食品ロス 削減推進法

関係課等で一体推進せよ

町長

対応を考えていく



澁谷勇悦 議員

問

本年10月1日に「食品ロス削減の推進に関する法律」が施行になり、国・県・町や消費者等が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進することになった。食品ロスの削減は農林課・環境防災課・教育委員会等が、食生活改善推進員協議会や余目生活学校等とともに取り組んでいる。しかし、更なる取り組み強化が必要となるので関係課等の一体推進と関係団体等の育成、拡充を図るべきでないか。

町長

食品ロスの削減推進については、現在、国の推進会議において基本方針案が検討中とのことから、来年度の地方公共団体向けの説明会の状況に合わせ、今後の対応を考えていくこととしている。なお、今年度は、ホームページへの食品ロス関連ページを追加



もったいないね

教育長

するとともに、関連記事を記載したチラシの全戸配布を行っている。学校では、学校給食や各教科で食と関連付けて指導することが求められているため、食品ロス削減に関する項目を設けず、現在の学習を継続発展させていく考えである。



※移住先進地…鳥取県鳥取市・岩美町、兵庫県朝来市。それぞれ全国「住みたい田舎ベストランキング」で総合1位を獲得。鳥取県は毎年全国トップクラスの移住実績を誇り、29年度（移住者2,127人、1,536世帯）は過去最高となる。

## 移住定住

### 先進地域の施策を活用せよ

町長 フォロー体制も重要



加藤将展 議員

#### 問

今般、県の町  
村長は山陰の移  
住先進地を視察した。  
町長は町広報で「自立  
った施策は住宅対策  
で、考えることはどこも  
同じ」と表明している。  
しかし、現地には、  
本町で建設中のような  
移住者向け住宅はなく、  
移住体験住宅は中古の  
一戸建が多数ある（本  
町は一室のみ）。また、  
専任の移住相談員を3  
〜8名も設置するなど  
（本町は兼任1名）、施  
策の内容・深度は大き  
く違っている。

先進地域の施策を十  
分調査分析し、本町に  
活用すべきではないか。

#### 町長

人口減少対策  
では、移住定住  
がキーワードと考えて  
おり、先進地において  
どのような取り組みを  
行っているか確認をさ  
せていただいた。本町  
と比較しどこに違いが  
あるのかという点では、  
空き家活用や住居補助  
といった施策部分では  
なく、先輩移住者を含  
めた受け入れ組織や体  
制にあると考えている。  
移住後のサポートも含  
めフォロー体制も重要  
な部分と考える。  
また、情報発信窓口  
のワンストップ化など、  
精度の向上も含め必要  
な部分と考えている。



満たいになるといいね 庄内町子育て応援住宅(南野)

## 鳥獣防止

### 危機感を持って取り組み

町長 捕獲実績はある



齋藤秀紀 議員

#### 問

庄内町鳥獣被  
害防止計画は、  
平成29年度から31年度  
までである。  
内容には、カラス・ハ  
クビシン・イノシシ・ク  
マ・カワウの捕獲計画  
数が年度別にあるが、  
現状と被害状況はどうか。  
また、イノシシは、  
県の捕獲数2018年、  
1575頭に対して、  
本町の実績はどうか。

全国的に心配される  
CSF・ASFウイル  
スの拡大が今後の大き  
な課題となるが、仮に  
全頭殺処分となった場  
合、再生への町の考え  
はどうか。

#### 町長

庄内町鳥獣被  
害防止計画に掲  
げる捕獲計画数に対す  
る捕獲実績は、イノシ  
シが平成30年度1頭、  
令和元年度16頭となっ  
ている。カラスやカワ  
ウは主に追い払い、ハ  
クビシンは罾の貸し出  
しによる個人捕獲とな  
っていることから捕獲  
実績は計上されていな  
い。被害状況について  
は、平成29年度が約2  
11万円、平成30年度  
が約382万円となっ  
ている。  
また、CSF等によ  
る全頭殺処分からの再  
建については、様々な  
要因や状況等から現時  
点での判断は困難であ  
る。

#### 平成29～31年度(令和元年末)の捕獲実数

区分		H29	H30	H31
カラス	計画数	100 羽	100 羽	100 羽
	実績数	0 羽	0 羽	0 羽
ハクビシン	計画数	10 頭	10 頭	10 頭
	実績数	0 頭	0 頭	0 頭
イノシシ	計画数	10 頭	10 頭	10 頭
	実績数	0 頭	1 頭	16 頭
ツキノワグマ	計画数	0 頭	0 頭	0 頭
	実績数	2 頭	6 頭	5 頭
カワウ	計画数	50 羽	50 羽	50 羽
	実績数	0 羽	0 羽	0 羽

※計画数は庄内町鳥獣被害防止計画より

※会計年度任用職員とは、会計年度を超えない範囲内で任用される一般職の非常勤の職員をいう。

## 会計年度任用職員

### 待遇は変わるか

最終的には定まっていない



小野一晴 議員

### 問

来年度から、一般職非常勤職員が新制度で会計年度任用職員に変わる。

会計年度任用職員の勤務時間をどのように考えているのか。

また、ボーナスと夏期休暇は、どのくらいの勤務時間の職員まで考えているのか。

### 町長

令和2年度より新設される会計年度任用職員については、一週間当たりの勤務時間が常勤職員と同じものであるものをフルタイム会計年度任用職員と、これよりも短い時間であるものを



新制度で変わるか

パートタイム会計年度任用職員とするもので、現在の臨時職員やパートタイム職員等が、この制度に移行することになる。

また、最終的な制度設計が定まっていない段階であるが、期末手当は県に準じ、基準日において週15・5時間

以上の勤務時間の任用期間を6月以上有した方を対象とし、夏季休暇についても国や県の勤務日数に合わせた形で、週3日以上勤務を有した方を対象に検討を加えている。

## 請願採択

### 次期食料・農業・農村基本計画に関する意見書

内容を精査し右記意見書を提出することとした。

### 請願者

JA庄内たがわ 代表理事組合長  
JA庄内たがわ農政対策推進協議会 会長

黒井 徳夫

JAあまのめ 代表理事組合長  
JAあまのめ農政対策推進協議会 委員長

森屋 要二

### 意見書

(前文略・見出しのみ記載)

食料安全保障を確立するための将来像の具体化  
消費者の信頼・理解拡大に向けた政策の強化  
(1)食の安全・安心に関する環境整備  
(2)食農教育の実践・強化と新たな国民運動の展開  
国産農畜産物安定供給のための生産基盤強化と地域政策の強化  
(1)多様な農業経営が持続的に維持・発展で

きる政策の確立  
(2)戦略的な輸出拡大に向けた政策の強化  
(3)中山間地域をはじめとする地域振興対策の充実  
(4)災害に強い農業づくり  
(5)鳥獣被害対策の強化  
(6)スマート農業・労働力確保対策の促進  
(7)国産の安定供給・価格安定、農業所得確保にかかる制度の強化  
次期基本計画の実践に向けた政策推進等  
(1)国・都道府県・市町村の連携、着実な実行体制の構築

(2)地域における行政・団体の役割発揮等  
令和元年12月17日  
提出先  
衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
総務大臣  
文部科学大臣  
農林水産大臣  
あて

### 訂正とお詫び

10月20日発行63号のP9決算特別委員会、長堀幸朗委員の質問に対する町長答弁で、「中長期的に活用する。」とありましたが正しくは、「繰越明許し、現在事業を行っている。」です。訂正しておわび申し上げます。

賛成全員で可決



# 視察中間レポート 〈総務文教厚生常任委員会〉

テーマ

## 危機管理

課題

- 避難勧告、指示の発令基準
- 避難所の指定と運用
- 自主防災会と防災設備
- 浸水常習地域の対策



長岡市

歴史 平成17年と、平成22年に二度の合併により、地域資源の豊富な28万都市となった。

調査日 令和元年10月3日  
人口26万9920人  
世帯数10万7654世帯  
面積891.06km<sup>2</sup>

### 新潟県長岡市

調査日

令和元年10月3日

毎年、8月に行われる「長岡まつり大花火大会」が有名である。

取り組み 福祉避難所  
・福祉避難室について開設・運営マニュアルを作成している。  
300箇所の定点カメラでリアルタイムな映像をモニタリングできるシステムを整備している。

近年、記録的な集中豪雨による甚大な被害が発生していることから、より高度な危機管理が求められています。  
そこで、課題等や施策について先進地を視察調査しました。なお、主な調査事項は、長岡市、武蔵野市は避難所、村上市は浸水対策です。



武蔵野市

歴史 東京23区の西部に接し、11kmに14万人以上の人口が密集している。  
吉祥寺、三鷹、武蔵境の特色ある三つのエリアからなるコンパクトで利便性の高い街である。

調査日 令和元年10月4日  
人口14万6931人  
世帯数7万7374世帯  
面積10.98km<sup>2</sup>

### 東京都武蔵野市

調査日

令和元年10月4日

取り組み 要配慮者の避難先を判断するため、要配慮者\*トリアージとトリアージフローチャートを作成し、総合防災訓練で実践的に訓練している。



### 新潟県村上市

調査日

令和元年11月13日

人口5万9822人  
世帯数2万2757世帯  
面積1174.90km<sup>2</sup>

歴史 旧村上市、旧荒川町、旧神林村、旧朝日村、旧山北町の1市2町2村は、平成20年に合併し、新たな村上市が誕生した。  
神林地区で農地の土地改良が進むにつれ、下流域の水害が深刻になり、その対策に官民一体となり取り組んでいる。

取り組み 下流域の深刻な水害の対策として農家が水田の排水口に「落水調整板」を設置することににより落水量を安定的に抑制する体制を構築している。  
農家の理解と協力が不可欠であるが、水害防止の効果は大きい。

# な表情、緊張感に満ちた議場 たちの傍聴体験記



議場って広いなあ

定例会は毎年4回(3月・6月・9月・12月)開催されます。議場の緊張感や議員と町当局のやりとりの真剣さなど、インターネット中継では感じとれないことが体験できます。町政への参加のはじめとして、子どもたちの学習にも役立ちます。ぜひこれから、傍聴においでください。

## 勉強になった

- ・町が考えていることがわかった。
- ・進め方がいいと思った。
- ・質問に対する答えがよかったです。
- ・うなずきながら質問した方がきいていていいと思った。
- ・町のせつめいの内容がよかった。
- ・庄内町をより良い町にするために話し合っている良いと思いました。
- ・きんちよう感があり、とてもがんばっていることが伝わりました。
- ・質問にたいして一つ一つちゃんと答えをかえしていいと思いました。
- ・熱意がありました。少しでも町を良くしたいという志がすごかった。一生懸命していました。議員等の方々の苦労がありました。

## むずかしい

- ・町の説明がよくわかった。
- ・町の困っている事などが、伝わるようにいっていい良かった。
- ・町のことをしっかり考えていて町民のことをかんがえていた。
- ・答えを具体的に言っていてよかった。議員ががんばっていることがわかった。
- ・きはきしてしゃべっていてとてもよかった。
- ・やりとりはよかった。
- ・議員の皆さんが町を本当に思っていることがわかり、信らうことができる。



(原文通り記載)

## その他

- ・議員でねている人がいた。
- ・笑わないでほしい。時間がながすぎた。
- ・話の長かった。
- ・議会の質問の内容はわからなかった。
- ・質問がききとりにくかった。
- ・行政用語がわからない。
- ・よかったような気がして、よくわからなかったです。大人になったら、わかる気がする。
- ・言っていることが少しむずかしかったの簡単言葉に訳してほしいと思った。



# Nice! 真剣 子ども

12月定例会の傍聴者は合計45人でした。

12月11日には立川小学校6年生39人（引率2人）が社会科（私たちの生活と政治）の学習の一環として傍聴しました。初めて経験する議会のやり取りに難しいと感じながらも、一生懸命に聞き入る姿には未来社会を切り拓く頼もしさを感じました。

議会傍聴アンケートより、子どもたちの意見を一部紹介します。



いよいよ始まるね

立川小学校6年生の  
みなさん

ありがとうございました

- ・ 齋藤 煌星さん
- ・ 西村 銀哉さん
- ・ 佐藤 蓮門さん
- ・ 寒河江 優斗さん
- ・ 渡部 大貴さん
- ・ 日向 創也さん
- ・ 門脇 優安さん
- ・ 丸山 賢太郎さん
- ・ 佐藤 琥太郎さん
- ・ 清野 一冴さん
- ・ 橘 哉翔さん
- ・ 柏倉 旺菜さん
- ・ 武田 滉世さん
- ・ 田澤 康将さん
- ・ 大瀧 颯太さん
- ・ 草島 海斗さん
- ・ 田澤 龍士さん
- ・ 鈴木 凌河さん
- ・ 石川 那奈友さん
- ・ 今井 龍月さん
- ・ 富樫 光聖さん
- ・ 齋藤 りいなさん
- ・ 小林 雪乃さん
- ・ 加藤 葵さん
- ・ 門脇 芽依さん
- ・ 齊藤 衣吹さん
- ・ 藤原 羽芽さん
- ・ 長南 万葉さん
- ・ 齋藤 結花さん
- ・ 加藤 星渚さん
- ・ 西村 遥菜さん
- ・ 阿部 ひなたさん
- ・ 名和 愛緒さん
- ・ 清野 妃菜さん
- ・ 阿部 愛月さん
- ・ 乙坂 星寧さん
- ・ 青木 夢空さん
- ・ 石川 彩夏さん
- ・ 小林 音緒さん

（出席番号順）

# 町民と語る会



議会では、これまで町民の方々から集まって頂き、議会の報告や地域課題等を話し合う形から、町内会や町のなかで活動する各種団体、会社等の希望や要請により、提案されたテーマに沿って議会が出向く形に改めました。この会が、町民と議会が互いに本音で語ることができ、さらに行政への提言につながる取り組みとなるように進めていきます。

※記事は一部を抜粋して掲載しています

## 令和元年度 実施一覧

団体名	実施月日	テーマ及び参加者数(議員数)
庄内町商工会工業部会	令和元年7月23日	これからの庄内町の展望について 30人(15人)
(株)イグゼあまるめ	令和元年10月8日	町湯の経営状況他 10人(7人)
狩川地区自治会長会	令和元年10月25日	立川庁舎利活用と公民館周辺整備 21人(5人)
庄内町商工会	令和元年11月18日	商工業振興策 25人(7人)
清川地区振興協議会	令和元年11月20日	清川地区の防災・減災 30人(5人)
庄内たがわ農業協同組合 新余目支所	令和元年11月27日	農業振興と担い手対策 24人(10人)

# 町民と議会の新たなページを開く

## 商工会 工業部会

テーマ これからの庄内町の展望

●議員個人としての考えはどうか

・若い人が子育てしやすく、活気ある町を目指す  
・女性参画による活気ある町。そのため旗振り役となる

・スポーツを通じ健康づくりに取り組む  
・LCCの成田便就航を機会に、千葉県や外国からの誘客増を目指す  
・臨空工業団地の分割分譲で、小規模事業者の誘致に取り組む  
・実際の財政規模と標準財政規模は約40〜50億円の差がある。財政改革の取り組みが重要

・子どもの遊び場づくりをめざし、立川庁舎の活用に取り組む  
・美田を守り農業の再生に取り組む





# 議会が出向く

- ・新たな町づくり会社を志向し、柔軟な発想で活躍できる町
- ・町の不採算事業をチエックし改善を提言していく必要がある
- ・入札機会均等を図り、制度改革を進める
- ・今後、想定される大型事業があるなか、学校整備の議論も進めたい
- **人口減少と働く場所の創出について**
- ・高規格道路が開通したことから、ベッドタウン化を進め、人口流出に歯止めをかける
- ・酒田と比較し地価が約半分。企業の社宅等の誘致を進める
- ・庄内は一つといった広域的発想も必要



ていねいにお聞きします

清川地区振興協議会

- ・町勢の維持には、人口の減少傾向を緩やかにする施策が必要
- ・高卒者の県外流出に歯止めかける施策が重要
- ・企業誘致で地元での起業を増やし、雇用拡大を図る
- ・メリットとして新産業創造館貸しオフィスは、若い起業家のために安く提供する
- ・環境整備、子供たちの安心、安全に力を入れる。結果として人口の流出を防ぐ
- ・地元企業の情報発信を拡充し、卒業後の進路選択や都会に住む若年層の定住、移住のきっかけをつくる
- ・臨空工業団地を地元企業も使えるようにとの意見には、具体的な考え方を示して頂ければ、町に提言していく

- **高齢化への対応**
- ・免許返納者への対応として、小型巡回バスの路線拡大が必要
- ・介護福祉施設は不足しているが、保険料の増加もあり町民の理解が必要
- ・介護費を含む医療費の増加が財政を圧迫し始めている。健康な高齢者が増える施策が必要

- **定数が欠員1人の状況について**
- 15人体制で不便を感じているように見えない。また報酬等をどう考えるか。

## 【議会】

- 現在、なり手不足調査特別委員会を立ち上げ議論している。
- ・議会全体で対応する
- ・報酬は全国平均以下で県内最低
- ・14人でも問題ない
- ・16人が適正である
- ・定数減は、さらに狭き門となり、その上に地域に精通した議員の地域バランスに影響する
- ・議員の仕事と、相応する定数や報酬との関係はさらに慎重に議論する



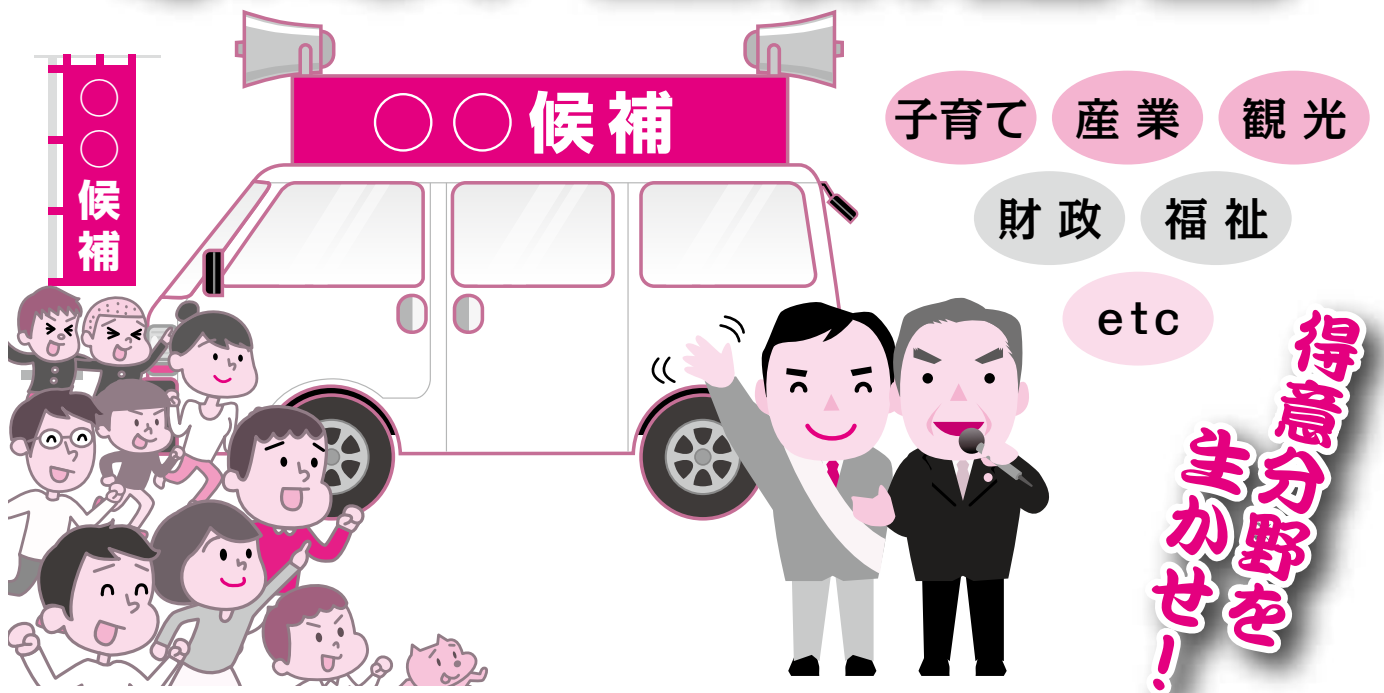


シリーズ  
Vol.16

# 議会

# 解 わり

## 求む! 立候補者



### 意見交換

当日参加いただいた町民の皆さんからさまざまな意見をお聞きしました。抜粋して紹介します。

### アンケート

アンケートの一部を紹介いたします。

議員に立候補したいと思いませんか。

- Aさん** 集落や団体の会合で町長と直接懇談する機会もあり、わざわざ議員に伝えなくても、と感じることがある。
- Bさん** 住民参加を進めていくのは大事ではないかと思う。
- Cさん** 定数をもっと減らして報酬を上げるべき。議員であっても生活があり、若い人は子どもを大学に入れられないので年収は500万円くらいにするべき。
- 町民の不満を聞いて歩くのではなく、こういう仕事をします、といった議員がほしい。
- ・思う 0人  
・どちらかといえば思う 1人  
・どちらかといえば思わない 1人  
・思わない 14人  
・どちらでもない 4人

町長と対話できる場面が多くなり、議員に町の課題を伝える必要があるのかと思うことがある。

どちらかといえば思うと選択した方の意見として、住民の声を伝えたい、議員の給料を上げるべきとのことでした。

ほかになり手確保の有効策として、  
・定数減で報酬アップ  
・議員活動に何を求めるかを考える  
などの記載がありました。

# 生声ひろば

復活 元旦餅つき  
吹払公民館

## おいしそうだね



小雪が舞う元旦の空に、「ぺったん、ぺったん」と心地よい音が響きます。狩川地域の吹払公民館で行っている餅つきの音です。

この集落では、しばらく途絶えていた元旦の餅つきの行事を昨年、復活させたのです。

こどもたちは寒さにも負けず、大人たちと一緒になつて、令和初めてとなる餅つきを楽しみました。そもそも正月の餅つきは、今年の稲の豊作を願い、神様からの生命力をいただく意味があるとのこと。そしてこの協働作業を通じて、地元の方々の絆や連帯感を高

めることに  
もなると思いました。

**問** (こどもたちに)  
おもしろかったですか。

**答** うん。早くお餅を  
食べたい。

こどもたちは、この餅つきを毎年体験することで、将来どこで暮らしても、いつかきつと、この餅つきや地元のことを思い出してくれるに違いないと感じました。

力持ちだね



餅のよう  
に、健康  
で長くと  
暮らせる  
ようにと  
願わずに  
はいられ  
ませんで  
した。

## 要約筆記

本町議会の特徴である要約筆記を12月13日に実施しました。議会だけでなく、他の会議等にも出向くことができますので、庄内町社会福祉協議会へお問い合わせください。

要約筆記ばんけの会  
(酒田市)  
要約筆記の会やまびこ  
(庄内町)



いつもありがとう

## 議場に彩り

12月定例会では、議場を飾る生花を庄内町花き振興会より提供していただきました。



はなやかに

## 新たな時代へ



吉 宮 茂  
議長

新年明けましておめでとうございます。

昨年は5月1日から新しい元号「令和」の時代が始まりました。自粛ムードのなかでスタートした「平成」の時代とは異なり、早くからお祝いムードに包まれました。その後ラグビーワールドカップ大会での日本チームの大活躍などがあり、希望に満ちた新時代を迎えました。

こうしたなか、私達は自治体の行政にかかわる者として、町民の安全、安心を守り、雇用の場を確保、安心して子育てできる環境づくり、高齢者が生活しやすいまちづくり等に努めることはもちろん、昨夏の参議院選挙で重度身体障がい者2人が当選したように国民の障がい者へ対する認識が大きく変わった年でもありました。

庄内町でも障がい者、健常者が共生できる社会実現のため、福祉施策の展開が問われています。そのためには今以上に町と議会が議論を通して連携、協調を深めなければなりません。

これからも町民本位の目線で活動が続けて参ります。

### 発行人

議長 吉宮 茂

議会広報常任委員会

委員長 國分 浩実

副委員長 澁谷 勇悦

委員 鎌田 準一

委員 加藤 将展

委員 阿部 利勝

委員 長堀 幸朗

